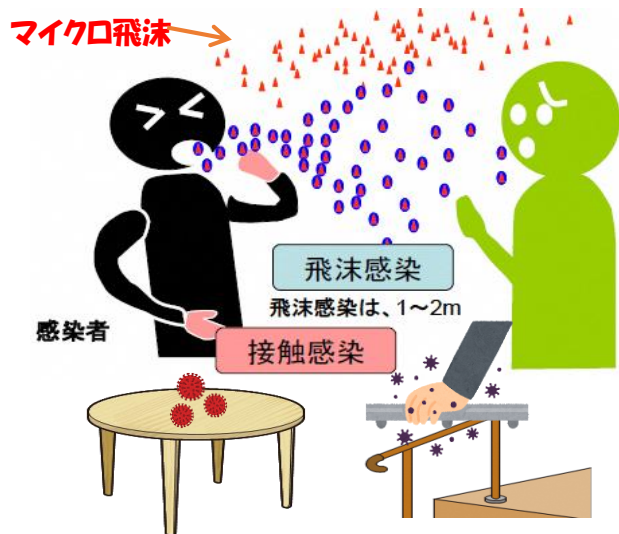


名古屋市ではデイサービスで集団感染が発生し、多くの高齢者が亡くなっています。全ての職員が、勤務時間外も含めた感染予防を徹底するとともに、職員及び利用者等が無症状の感染者かもしれないという前提で、「うつさない」予防対策を徹底しましょう。

1. 職員自らも含め無症状・軽症の感染者が紛れ込むことに注意を

閉鎖空間では、発熱、咳がなくても近距離での会話や発声（歌など）で感染する可能性があります。また、無症状でもウイルスを出して感染させることがあります。「マスク着用。こまめな手洗い・消毒。口、鼻、目を自分の手で触らない」を徹底して下さい。



〈感染経路〉

飛沫感染

- ・感染者の咳、くしゃみ、会話・発声で出る飛沫（ウイルスを含む）を吸い込んで感染します。
- ・大きな飛沫は2m以内に落ちますが、密閉空間では、マイクロ飛沫が20分程度、より広範囲でたどるため周囲の者が吸い込んで感染します。

接触感染

感染者がウイルスを付けた手すり等の共有物を触り、ウイルスが付着した手で自分の口や目、鼻を触ってウイルスが体内に入り感染します。



注意ポイント

(1) 自らも含め無症状・軽症の感染者が紛れ込んで感染します

クルーズ船では陽性者の半数が無症状でした。無症状、軽症の方から感染しています。無症状感染者の紛れ込みによる集団感染にご注意ください。職員、利用者はもとより委託業者等も含めて、①発熱・咳等の症状があれば自宅療養を徹底。無症状でも②近距離で会話する時は必ずマスクを着用、③こまめな手洗い・アルコール手指消毒、④自分の口、目、鼻を触らない、を徹底しましょう。

(2) 「3つの密」が重なる場をつくらない、行かない

通所サービス内で下記の3条件が重なる場をチェックし、換気や人数制限、会話をしないなどの対策を実施しましょう。勤務時間外にも、宴会、カラオケなど3密が重なる場には絶対に行かないで下さい。

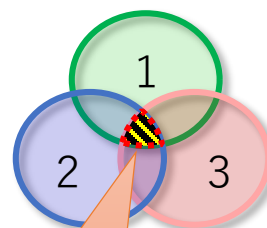
①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



3つの条件がそろると集団発生のリスクが高い

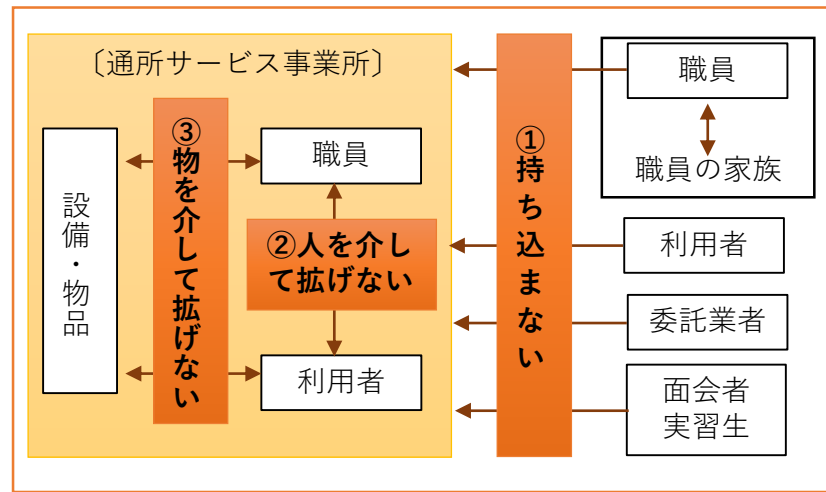
2. 持ち込まないが最重要！ 仮に無症状感染者が紛れ込んでも感染させないを徹底

①「持ち込まない」

職員、利用者等の全てが、発熱等の症状をチェック。症状があれば出勤しない・利用しない。出勤時、利用時に手洗い・手指消毒して持ち込まない。

②「人、物を介して拡げない」

紛れ込んだ無症状、軽症の感染者が、感染を拡げないよう、サービス提供時、利用時のマスク着用、手洗い・手指消毒、共用物の消毒を徹底しましょう。



具体的な対策

職員

- ・ 毎日検温し、熱や咳などの症状がある時は、管理者に報告し、出勤しないことを徹底。家族に発熱等の症状がある場合も管理者に報告、相談する。
- ・ 少なくとも解熱後24時間以上、呼吸器症状が改善するまで出勤停止。出勤再開後もウイルスを出している可能性を念頭にうつさない対策を徹底。
- ・ 出退勤時、利用者ごと、ケアごとの手洗い・手指消毒を励行。
- ・ マスクを正しく着用、マスクの表面を触らない。触ったら必ず手指消毒。
- ・ 勤務時間外の不用不急の外出、人混みを避ける（特に、3密が重なる場）

～職員が持ち込まない、利用者に感染させない～

利用者への対応

- ・ 運転手のマスク着用、手指消毒。利用者は、乗車前に検温、健康チェック。発熱等の症状があれば利用を断る。マスク着用、手指消毒後に乗車。窓を開けて換気。
- ・ 断った時は、必要に応じて、ケアマネ等と連携し訪問介護等の提供を検討
- ・ 利用者は、サービス利用前後に手指消毒。
- ・ 利用者の健康状態の「いつもと違う」を早く見つける

～利用者が持ち込まない、～

委託業者等の対応

- ・ 物品の受け渡し等は、場所を決めて対応する。
- ・ 施設内に入る場合は、検温し、発熱がある時は、入館を断る。

新型コロナウイルスの感染対策チェックリスト

これらは感染対策に向けた取り組みの1つの目安です。貴事業所において感染対策を進めるうえでの参考としてください。

事業所の感染管理体制	感染対策（衛生管理）の担当者を明確にしていますか。	<input type="checkbox"/>
	感染対策において、必要が生じた場合、適宜職員への周知・啓発や職員研修等を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
	職員、利用者に感染症患者(または疑い例)が発生した場合に、管理者への報告や関係機関への連絡等、報告・連絡体制ができていますか。	<input type="checkbox"/>
職員の健康管理	職員は出勤前に体温を計測し、37.5度以上の発熱がある場合には出勤を行わないことを徹底していますか。 解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで出勤を行わないことを徹底していますか。	<input type="checkbox"/>
	出退勤時、入退室時、利用者ごと、ケアごとに手洗いまたは手指消毒を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
	利用者の排泄物や吐物が付着したものは、適切に処理していますか。これらに触れた後には手洗いまたは手指消毒を徹底していますか。	<input type="checkbox"/>
	咳などの症状があるときは、マスクを正しくつけていますか。使用中、使用後にマスクの表面を触っていませんか。	<input type="checkbox"/>
	換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避ける等の対応を徹底していますか。やむを得ず人混みへ行く場合は、感染防止対策を徹底していますか。	<input type="checkbox"/>
	職員の家族にも前項の協力をお願いしていますか。また、家族に感染症状がある場合についても、管理者へ報告していますか。	<input type="checkbox"/>
	利用者の健康管理	利用者の送迎時、乗車前に発熱の有無等の健康チェックを行い、発熱等の症状がある場合は利用を断っていますか。 (解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまで)
	発熱等により利用を断った利用者については、家族や担当のケアマネに情報提供を行っていますか。また、市町村やケアマネと連携し、代替サービスの確保・調整等の対応を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
	入退出時、食事前後、排泄後などに手洗いまたは手指消毒を励行するよう声をかけていますか。 チラシの掲示等により正しい手洗い方法を啓発していますか。	<input type="checkbox"/>
	共用タオルは使っていませんか。ペーパータオルは濡れないように設置していますか。	<input type="checkbox"/>
	咳などの症状がある場合は、マスクの着用等の咳エチケットを支援していますか。	<input type="checkbox"/>
委託業者等への対応	面会者、実習生、ボランティア等の受け入れは必要最低限にしていますか。施設内に立ち入る場合は体温を計測してもらっていますか。	<input type="checkbox"/>
	委託業者等との物品の受け渡し等は玄関などの限られた場所で行っていますか。施設内に立ち入る場合は体温を計測してもらっていますか。	<input type="checkbox"/>
環境整備等	送迎時には、車内の窓を開ける等換気に留意するとともに、送迎後に利用者の接触頻度が高い場所（手すり等）の消毒を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
	「換気が悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」の3つの条件が重ならないよう、レイアウトの変更やこまめな換気等の対応を行っていますか。	<input type="checkbox"/>
	利用者がよく触る部分（手すり、ドアノブ、介護用品等）は、0.05%次亜塩素酸ナトリウムや消毒用アルコールで清拭していますか。	<input type="checkbox"/>